



花すみれ

第 73 号
金沢商業高校図書館だより
令和 8年 3月 16日(月)

本校の前身、県立金沢董台高等学校の開校時に発表された逍遙歌(しょうようか：学生歌などの意)「真実(まこと)のしるし」の一節より拝借いたしました。

3月になりました。1月から検定やテストが続いて、少し疲れがたまっていますか？そんな時は、ぜひ図書館に来てください。静かな空間で本を読むと、気持ちが少し落ち着き、いいリフレッシュになります。もうすぐ春休みも始まります。せっかくの長い休みなので、この機会にじっくり読める1冊を見つけてみませんか？ぜひ図書館で探してみてください。

春休みの貸出について

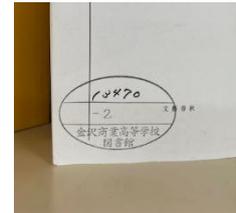
貸出冊数：無制限
返却期限：4月10日(金)まで

本の返却のお願い

返却期限の過ぎた本を持っている人は、すぐに図書館まで返却してください。

また、教室や部室等に置いたままの図書館蔵書がありましたら、図書館まで届けてもらえると助かります。ご協力よろしくお願いします。

○図書館蔵書の特徴(背表紙のラベル、蔵書印など)



河村(株)様より下記の資料を寄贈いただきました。

『北國新聞縮刷版 DVD』
令和7年9月号～12月号

*社長をはじめ社員の皆様の多くが本校卒業生の会社です。

金商生の おすすめ本

『君が最後に遺した歌』

一条岬

大切な宝物をつづった物語です。詩作が唯一の趣味の主人公と、“ある事情”から歌詞が書けないクラスメイトとの物語で、彼女の代わりに歌詞を書き、彼女が歌う。そうやって過ごしていく中でたくさんの宝物を受け取ります。この本を読んだ後には、時間が経っても大切に遺っている宝物について考えることができると思います。

『准教授・高槻彰良の推察』 澤村御影

この本は、不思議な体験をした主人公と不思議な力を持った准教授があやかしチックな事件を淡々と解決していくお話です。小説は全13巻、マンガやドラマ化した人気の作品です。ぜひ読んでみてください

『変身／掟の前で』 フランツ・カフカ

チェコ出身の小説家、フランツ・カフカの書いた物語を集めた1冊です。ある日、目覚めたら虫になっていた『変身』を筆頭に、カフカの描く理不尽な世界が魅力です。ビターな気持ちになりたい人におすすめ。これ以外にもカフカの本は、もう1冊あります。興味が湧いたらそちらも読んでみましょう。

新着図書紹介

ここに紹介した本以外にもたくさん本が入りました。
ぜひ利用してください。

コミック

- ・『票読みのヴィクトリア』 5 鈴木コイチ
- ・『カモのネギには毒がある 加茂教授の人間経済学講義』 甲斐谷忍
- ・『税金で買った本』 17～18 ずいの
- ・『ブルーピリオド』 18 山口つばさ



文学

- ・『I』 道尾秀介
- ・『君が最後に遺した歌』 一条岬
- ・『君の顔では泣けない』 君嶋彼方
- ・『愚か者の疾走』 西尾潤
- ・『鬼の花嫁』 1～2 クレハ
- ・『小説#拡散』 港岳彦
- ・『横浜ネイバース』 1～3 岩井圭也
- ・『ほどなく、お別れです』 4 長月天音
- ・『これは経費で落ちません!』 13 青木祐子
- ・『旅行屋さん 日本初の旅行会社・日本旅行と南新助』 河治和香
- ・『天文館探偵物語 映画ノベライズ』 樹島千草
- ・『白雪姫と五枚の絵 ぎんなみ商店街の事件簿 2』 井上真偽
- ・『成瀬は都を駆け抜ける』 宮島未奈
- ・『変な地図』 雨穴
- ・『暁星』 湊かなえ
- ・『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ
- ・『さよならジャバウォック』 伊坂幸太郎
- ・『エピクロスの処方箋』 夏川草介
- ・『spring another season』 恩田陸
- ・『カフェーの帰り道』 嶋津輝
- ・『テミスの不確かな法廷』 直島翔
- ・『しっぽのカルテ』 村山由佳
- ・『神さまショッピング』 角田光代
- ・『天才望遠鏡』 額賀滯
- ・『満月珈琲店の星詠み』 7 望月麻衣
- ・『ケーキ王子の名推理』 7 七月隆文

その他

- ・『数学ガール リーマン予想』 結城浩
- ・『考え方』 稲盛和夫
- ・『おでん学!』 紀文食品おでん研究班
- ・『学力よりコミュカ 無理しないコミュニケーション術』 菅広文
- ・『医療現場の行動経済学 すれ違う医者と患者』 大竹文雄
- ・『石徹白洋品店物語 地域の宝を掘り起こす小さなビジネス』 平野馨生里
- ・『新100円のコーラを1000円で売る方法』 永井孝尚
- ・『JAPAN MADE『日本製』を求めて。』 清水ともみ
- ・『カウンセリングとは何か 変化するということ』 東畑開人
- ・『小泉八雲と水木しげるに学ぶ異界の歩き方』 小泉凡
- ・『メイド・イン・ジャパン 日本文化を世界で売る方法』 佐々木敦
- ・『コミュニティデザインの時代 自分たちで「まち」をつくる』 山崎亮